

福井県老人クラブ連

題字／吉川 壽一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)
TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580
E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp
HP : http://fukui-rouren.jp

2014 vol.145

平成26年9月



女性リーダーセミナー

老人クラブのメインテーマが新しくなりました ～のばそう!健康長寿、担おう!地域づくりを～

<健康寿命>

- 健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指します。
- 仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

<地域づくり>

- 他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりを目指します。
- 元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。

目次

全老連「100万人会員増強運動」
福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」
推進要領…………… 2～3

平成26年度事業計画・予算・事業予定……4
県老連事業報告……………5～11
(合同研修会、老人家庭相談員研修会、女性リーダーセミナー)
(全老連中央セミナー、東海北陸ブロックリーダー研修会)

福井県老人クラブ連合会

「1万人会員増強運動」

～年間1クラブ2名純増で1万人～



全老連、都道府県・指定都市老連では、全国の市町村老連、老人クラブに呼びかけて、本年度から5カ年計画で老人クラブ「100万人会員増強運動」を展開いたします。

そこで、平成26年度から福井県老人クラブ連合会でも、『「1万人会員増強運動」～年間1クラブ2名純増で1万人～』を推進することとなりました。この運動は、市町老人クラブ連合会・単位老人クラブで独自の計画をたて、クラブの総力を結集し、積極的な取り組みをお願いするものです。

本誌では、「会員増強運動のヒント」として、「会員を増やした成功事例」や「クラブの自己点検項目」を掲載しましたので、まずは、「できること」からはじめてみましょう！

1 万人会員増強運動の概要

運動期間

平成26年度～30年度(5カ年間)

運動目標

- ①年間1クラブ2名の純増
- ②老人クラブの組織強化と活性化
- ③解散・未設置クラブの再結成(結成)

実施運動

- 運動1: 勧誘から始めよう
～会員一人ひとりが勧誘の担い手です～
- 運動2: クラブをPRしよう
～知られていますか? あなたのクラブ～
- 運動3: クラブをつくろう
～すべての地域にクラブの設置を～

取り組み体制への提案

単位クラブ・市町老連の実状に応じて、具体的な取り組み体制や目標を設定してください。

単位クラブ

- ①会員増強委員会(仮称)の設置
・高年・女性・若手の複数名の代表者による委員会の設置
・老人クラブの自己点検
- ②未加入者の把握、リスト作成
- ③町内会・自治会等への協力要請
- ④未加入者への訪問活動
- ⑤サークル活動やクラブ行事への参加呼びかけ

市町老連クラブ連合会

- ①「会員増強運動推進委員会(仮称)」の設置
- ②関係機関・関係団体への運動に対する協力要請
・行政、社会福祉協議会、自治会、民生委員、地域包括支援センター等
- ③単位クラブ及び市町老連の毎年度目標達成の把握
- ④単位クラブにおける運動に対する指導・アドバイス

全国老人クラブ連合会「100万人会員増強運動」5カ年計画(平成26～30年度)

趣旨

- 65歳以上人口が3,000万人を超える中、老人クラブは、新たな仲間呼びかけ、共に基本理念である「4つの“づくり”」活動を目指します。
- そのため全国の老人クラブ関係者が総力を結集して、組織活動の基盤となる会員増強に向けてこの運動を推進するものです

運動スローガン

「総力を結集して 全国100万人会員増強を達成しよう！」

- 高年パワー: 75歳以上の高齢者は1,500万人。会員増強の中心世代です。
- 女性パワー: 6割を占める女性会員の結束で勧誘活動を強化しよう。
- 若手パワー: 若手高齢者も1,500万人。魅力ある活動は、若手会員自らが創造しよう。

老人クラブが目指すもの(基本理念)

生きがいづくり《高齢期の充実》—趣味・文化・レクリエーション等
健康づくり《健康寿命を伸ばす》—健康学習・運動・体力測定等
仲間づくり《同世代の連携・支え合い》—例会・声かけ・友愛・親睦・旅行等
地域づくり《社会貢献》—環境美化・リサイクル・ボランティア・世代交流等

クラブ自己点検のすすめ

○会員増強の成功事例では、以下への対応・対策が講じられています。
○目標達成に向けて自らのクラブの自己点検に生かしましょう。

チェック①

自治会や他団体との連携はできていますか？

チェック②

地域や自治会主催の行事等に参画していますか？

チェック③

従来方式にとらわれず活動や運営方法に柔軟性がありますか？

チェック④

若手や女性を積極的に登用して後継リーダーを養成していますか？

チェック⑤

活動を会員はもとより非会員や地域にPRしていますか？

チェック⑥

体験参加を呼び掛ける活動はいつありますか？

チェック⑦

会員全体で地域の未加入者に勧誘活動をしていますか？

チェック⑧

リーダーの役割分担、会員との協力体制は十分ですか？

チェック⑨

新会員に誇れるクラブのセールスポイントはありますか？

チェック⑩

会員の意向を把握していますか？

会員増強への意見・事例から見える「キーワード」

【加入促進のキーワード】

- リーダーの意欲
- 加入促進委員会
- 他高齢者グループへの声かけ
- 活動の魅力
- 体験型加入促進
- 未加入者への情報提供
- 楽しい活動
- 数値目標の設定
- 相談支援体制の強化
- 加入のメリット
- 地域行事への参画
- 新規事業の開発
- 地域支え合い
- 広報PR、HP
- いきいきサロンの実施
- 顕彰制度
- 行政等の広報活用
- 戸別訪問、口コミ、お誘い
- イメージアップ
- 地元名士の加入
- 高齢者の生活を守る活動
- 若手人材の発掘
- 年代別の活動
- 自治会や他団体との連携
- 活動の場づくり
- 若手、女性の活用
- 未加入者へのアンケート調査
- 名称変更
- 行事オープン化
- 未加入者リストの作成
- サークル活動
- クラブ選択制
- 自治会との連携による新設クラブ
- 広域型クラブ
- 休会クラブの復活
- 未組織地区での新設
- 自己点検
- 事務局体制の強化
- 人材育成、役割分担
- 行政との連携強化
- 後継リーダー養成
- 単位クラブと連合会の連携

会員増強のヒント

※月刊全老連6月号 事例一部抜粋

運動1 勧誘から始めよう！

●「まずは、誘うこと」：勧誘活動は、会員増強の基本

事例

「クラブの“売り”を明確に、“ローラー作戦”で効果をあげる」

(広島県呉市 昭和地区政敵永寿会)

- ①自己点検 → 「会の問題は何か」「なぜ入会者が少ないか」すべての問題点の洗い出し
- ②改善策の検討 → 運営や活動の見直し、会員募集方法の改善
未加入家庭をくまなく訪問。老人クラブの存在や入会方法がわからない、勧誘を待っている方に呼びかけ、毎年10名以上の会員増。

●会員一人ひとりが声かけ：「高年は高年に」「女性は女性に」「若手は若手に」

事例

「若い人が誘うと、若い人が入る」

(宮崎県宮崎市 小牧台福寿会)

70歳代の若い方に会長を交代したところ、その会長の声かけにより、2か月で60～70歳の方が16名も加入。かつて会員40名だったクラブは、現在では80名になった。

運動2 クラブをPRしよう

●クラブの情報が地域住民に届くようにしましょう。

事例

ポスター・広報誌・口コミで多くの人にPR

(埼玉県川口市 さしまスローライフ)

あえて手書き「入会おさそい」ポスターと広報誌を町のいたる所に(銀行・郵便局・農協・美容院・スーパー・役員や会員宅に玄関など)配布。

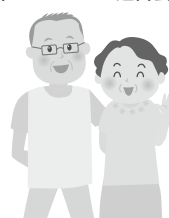
事例

行政や他団体と連携し、クラブPR

(福岡県大野城市シニアクラブ連合会)

★市の広報誌にクラブの紹介を掲載してもらう

★公民館の窓口にクラブ加入申込書を常備。「公民館だより」によるクラブ紹介。



運動3 クラブをつくろう！

●自治会と連携して未設置地域に老人クラブをつくろう

●高齢者の増加に伴い、一地域に複数クラブの設置を目指そう。

●高齢者の意向が多様化する中、新しいタイプのクラブを考えよう

事例

市老連から呼びかけて、クラブ復活

(沖縄県 浦添市老人クラブ連合会)

- ①休会クラブの復活：休会の理由は、後継者不足。自治会の協力を得て、3クラブ90余名の復活を達成できた。
- ②行事のマンネリ化を改善：若手会員との意見交換の場で「魅力ある行事」を求める声があがった。会員限定の各種行事を市内の高齢者枠に広げた。また、男性だけのサークルや80代以上の輪投げ大会を催すなど、「楽しく・愉快的クラブづくり」をしている。

平成26年度事業計画

1. 基本方針

老人クラブは、高齢者の仲間づくりと健康づくり・介護予防を基本に、環境美化、世代間交流、ボランティアなど、幅広く社会に貢献する活動に取り組んでいます。

わが国は人口減少社会のなかで、75歳以上人口の急激な増加が予測され、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっています。

閉じこもりを防ぎ、心のつながりを深める友愛活動をもとに、住み慣れた地域で継続的に生活ができるよう、老人クラブのネットワークを活かした見守り・生活支援への期待が大きくなっています。

また今日、社会保障制度の持続可能性が問われるなかで、私たちも制度を支える一員として、能力に応じた責任を果たし、高齢者の尊厳を守っていかなければなりません。

そのため、県をはじめ各行政機関や関係諸団体の協力・支援を得ながら、市町老人クラブ連合会と連携を密にして積極的に各種事業を推進していきます。

2. 推進事項

- 1 老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 2 健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 3 日常生活を支援する「地域支え合い活動（友愛）」の推進
- 4 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 5 老人クラブ「1万人会員増強運動」～年間1クラブ2名純増で1万人への推進

3. 事業実施計画

I. 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業

- ① 高齢者健康・生きがい講座事業

平成26年度 事業予定表 (26年4月1日～27年3月31日)

月	日・曜日	県老連関係
5月	9(金) 14(水) 28(水)	女性委員会 監事監査・第1回理事会 第1回評議員会
6月	2(月) ～3(火) 11(水) 17(火) ～18(水)	都道府県指定都市老連中央セミナー 表彰選考委員会 合同研修会(市町老連会長会議)
7月	3(木) ～4(金) 10(木) 15(火) 17(木) 22(火) 24(木) 31(木) ～8/1(金)	東海・北陸ブロック研修会(石川県) 老人家庭相談員研修会(嶺南) 老人家庭相談員研修会(丹南) 老人家庭相談員研修会(坂井) 老人家庭相談員研修会(奥越) 老人家庭相談員研修会(福井) 女性リーダーセミナー
9月	5(金) 15(月) 20(土) 〃(土) 25(木)	表彰選考委員会 予算要望 老人の日「老人週間」15～21日 全国一斉社会奉仕の日 ふくい健康長寿祭2014 知事杯グラウンドゴルフ大会
10月	4(土) ～7(火) 9(木) 21(火) ～22(水) 23(木) 30(木)	第27回全国健康福祉祭(栃木県) 友愛募金運営委員会 第26回女性リーダーセミナー 第41回県老人クラブ大会(越前市) ①いきいきフェア(福井市・敦賀市)
11月	5(水) 7(金) 13(木) ～14(金) 20(木)	②いきいきフェア(坂井市・高志・南越) ③いきいきフェア(あわら市・若狭) 全国老人クラブ大会(大分県) 会長杯公式ワナゲ交流大会
1月	14(水) ～15(木) 20(火)	在宅福祉を支える友愛セミナー 第2回理事会・市町老連会長会議
2月	19(木)	市町老連会長会議(予算連絡会議)
3月	2(月) ～4(水) 12(木) 19(木)	老人クラブ健康づくり中央セミナー 第3回理事会 第2回評議員会

※全老連、他団体の事業…青字

- ② 高齢者スポーツ振興事業
 - ③ 福井県知事杯高齢者グラウンドゴルフ大会事業
 - ④ 県老連会長杯公式ワナゲ交流大会事業
 - ⑤ 高齢者地域交流ウォーキング事業
 - ⑥ 高齢者いきいきフェア開催事業
 - ⑦ 健康づくり推進員派遣事業
 - ⑧ ふくい健康長寿祭参加活動事業
 - ⑨ ラジオ体操・いきいきクラブ体操及び体力測定の実施
- ### II. 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全・安心推進事業
- ① 友愛募金運営事業
 - ② お年寄りふれあい訪問事業
 - ③ (新) 高齢者元気活躍支援事業
 - ④ 子ども見守り活動の推進
 - ⑤ 防犯、防災、交通安全活動の推進

III. 老人クラブ育成指導推進事業

- ① 老人クラブ指導者研修会開催事業
- ② 女性リーダーセミナー開催事業
- ③ 福井県老人クラブ大会事業
- ④ 全老連等研修会参加事業

VIII. 法人運営

- ① 役員会等の開催
- ② 関係機関との連携
- ③ 予算及び事業執行方針

- ⑤ 全国老人クラブ大会参加事業
- ### IV. 会員増強・クラブ活性化の取り組み
- ① (新) 老人クラブ「1万人会員増強運動」～年間1クラブ2名純増で1万人への推進
 - ② 会員増強クラブ・市町老連表彰
 - ③ 活動賞・優良老人クラブ表彰
 - ④ クラブ活性化部会提言内容(報告書)の実践
- ### V. 広報活動推進事業
- ### VI. ホームページの開設
- ### VII. 全国運動・全国共通目標の取り組み
- ① 全国三天運動(健康・友愛・奉仕)の推進
 - ② 「老人の日」「老人週間」の取り組み
 - ③ 全国一斉「社会奉仕の日」の取り組み
 - ④ 「老人クラブ21世紀プラン」「単位クラブ21」の推進
 - ⑤ 老人クラブ傷害保険の加入促進
 - ⑥ 老人クラブ会員章の普及

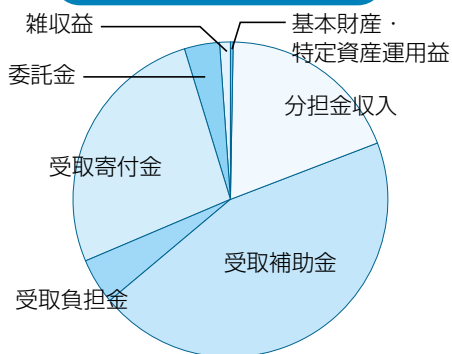
平成26年度 収支(損益)当初予算書

収入の部	科 目	本年度当初予算額	附 記
	基本財産・特定資産運用益	213,000	基本財産利息・特定資産利息
	分担金収入	7,752,000	国庫クラブ@ 7000 その他クラブ@ 1000
	受取補助金	18,432,000	1. 福井県老連事業補助金 2. 活動推進員助成 3. お年寄りふれあい訪問事業 4. 新：高齢者元気活躍支援事業 5. 地域交流ウォーキング事業 6. スポーツ振興事業 7. 健康・生きがい講座事業
	受取負担金	1,970,000	参加者負担金（研修会等の参加者負担分）
	受取寄付金	11,000,000	友愛募金
	委 託 金	1,515,000	
	雑 収 益	400,000	預金利息等
	収 入 合 計	41,282,000	

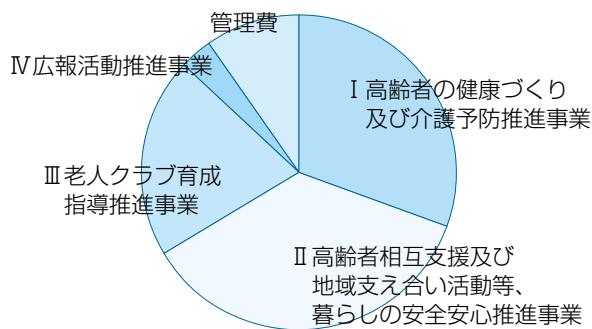
支出の部	科 目	本年度当初予算額	附 記
事業費		13,745,000	【Ⅰ 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業】 1. 健康生きがい講座事業 2. スポーツ振興事業 3. 県知事杯グラウンド・ゴルフ大会 4. 地域交流ウォーキング事業 5. 新：会長杯公式ワナゲ交流大会事業 6. いきいきフェア開催事業 7. 長寿祭参加活動事業 8. 健康づくり推進員派遣事業
		16,103,000	【Ⅱ 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全・安心推進事業】 1. 友愛募金運営事業 2. お年寄りふれあい訪問事業 3. 新：高齢元気活躍支援事業
		9,109,000	【Ⅲ 老人クラブ育成指導推進事業】 1. 指導者研修会開催事業 2. 女性リーダーセミナー開催事業 3. 県老人クラブ大会事業 4. 全老連研修会参加事業 5. 全国老人クラブ大会参加事業 (中央セミナー・女性リーダーセミナー・友愛セミナー・東海北陸ブロックリーダー研修会、健康づくり中央セミナー等)
		1,591,000	【Ⅳ 広報活動推進事業】 機関誌発行等
管 理 費		4,258,000	1. 役員会議等 2. 法人運営事務費 3. 全老連・関係機関負担金等 4. 法人移行業務委託費
支 出 合 計		44,806,000	

収支差額： 当初収支(損益)差額	△ 3,524,000
---------------------	-------------

収入の部



支出の部



県老連事業報告

(4月～8月)

合同研修会

6月17日～18日の二日間、グランディア芳泉において、県下17市町老連の会長・女性リーダー・事務局の45名が参加。今年度から「老人クラブ『1万人会員増強運動』」を推進するにあたり、会長・女性リーダーの視点から、日頃の活動報告や意見交換を行い、会員数が減少している要因や改善策を探り、各グループの代表者が全体会で報告されました。また、講演では、元福井県公民館連合会会長西木憲治氏を迎え、『地域の中で他団体と連携することの重要性』や『老人クラブをPRする手段』などをお話し頂きました。そして、事例発表では、サロンの運営について、行政や他団体と連携している事例を越前市いきいきシニアクラブ連合会の活性化推進員田畑正生氏に発表をして頂きました。

●分散会

……各グループの意見交換の内容を二部抜粋

【会長グループ (市町老連会長会議)】

会員減少の原因

- ① 団塊の世代が消極的である。
- ② 市町老連に加入しない老人クラブがある。
- ③ 対人関係により加入しないことがある。

改善策

- ① 単位クラブの活性化（サロンの実施等）
 - ② 外部に情報発信する（HP・ケーブルテレビ・行政の広報誌を利用するなど）
- まとめ
集落や単位クラブが「できることから実践する」

【女性リーダーグループ】（女性の視点から）

会員減少の原因

- ① クラブ長の判断だけで、女性部の意見が反映されず、休会になってしまう。
- ② 上層部だけで退会を決定してしまう。
- ③ 加入すると役を持たされるのが負担になる。
- ④ 『老人クラブ』の名称に嫌悪感を持っている。（名称変更も考慮すべき。）

改善策

- ① 口コミで熱意をもつて伝える。
- ② 活動を体験してもらい、加入するきっかけにしよう。

女性リーダーにできること

- ③ 芸能発表会やサークル活動で興味を持ってもらう。
- ④ 女性リーダーの補佐役とともに、活動をしやすい雰囲気をつくる。
- ⑤ 小さなことでも役割分担をして、意欲を出してもらおう。

◎講演

「地域づくりと老人クラブ」

元福井県公民館連合会会長 西木 憲治氏

公民館の役割や地域住民との交流事例などを挙げ、これからの地域づくりでは、人と人をつなぐ『調整役』として、老人クラブが旗頭となつて、

同じ地域で活動している町内会や公民館の橋渡し役となり、地域づくりに取り組むことが期待されていると述べられました。また、今後高齢者人口が増える中、地域に住む高齢者同士が支え合う『人間関係づくり』がとても大切になると話されました。



★いつでも気軽に集える場所を確保しましょう！

※座りやすいイスとテーブル・お茶やコーヒーが自由に飲める場所などがあればよい。
…人が集まれば、自然と地域の良い点・悪い点などが出てきて、活動する上でのヒントや課題を得ることが出来ます。

◎事例発表

「いきいきサロン応援団の立ち上げ」

越前市いきいきシニアクラブ連合会

活性化推進員 田畑 正生氏

越前市シニア連では、全クラブにサロンを立ち上げるため、行政や他団体と連携し、『サロン応援団』を組織しています。また、2月に『合同会議』を開催して、年間スケジュールを立てます。この会場では、ク



合同会議

▼サロン応援団

	応援団講師の話（講演内容）	担当講師（関係団体）
1	健康講話（血圧測定）	包括支援センター
2	介護予防（音楽療法）	音楽療法士、4名
3	//（運動）	健康運動指導士（施設）
4	//（口腔）	歯科衛生士
5	//（栄養）	栄養士
6	薬の話	武生薬剤師会
7	介護保険などについて	長寿福祉課他 各課
8	交通安全の話	警察署
9	救急・防災の話	消防組合
10	悪徳商法対策について	消費者センター
11	カラオケ・手芸など	シルバー人材センター
12	認知症の話	長寿福祉課、病院
13	金融経済、ライフプランなど	知るぽると（県金融広報委員会）
14	ライフライン	北電

ラブの代表者が直接、専門家や他団体と日程調整や内容を決めていきます。さらに、高齢者にとって提出書類が負担になっ
て、提出書類の簡素化し、書類を1枚（年間計画表）にまとめ、窓口を二本化にするなどの工夫をして、サロン立ち上げのサポートをしています。

町名:	サロン名:	会費:			
連絡先（申請書や実施内容について調整をされる方・運営協力者）					
①（フリガナ）..... 名前: 電話: 携帯:		②（フリガナ）..... 名前: 電話: 携帯:			
月	日	曜日	開始時間～終了時間	予定内容	健康相談 有・無
4	7	月	9時～11時 30分	健康の話・くらし 地域包括サブ	有
5	5	火	〃	薬の話 武生薬剤師会	無
6	2	水	〃	救急・救命の話 消防署	無
7	7	木	〃	健康体操 ほっとリハビリ	有
8	4	金	〃	介護予防、口腔 歯科衛生士	有
9	1	土	〃	カラオケ・ゲーム シルバー人材	無
10	6	日	〃	介護予防・栄養の話 栄養士会	無
11	3	月	〃	介護予防・認知症の話 長寿福祉課	有
12	1	火	〃	音楽療法 音楽療法士	無
1	5	水	〃	市政講座高齢者の権利 福祉課	無
2	2	木	〃	ライフプラン 知るぽると	無
3	3	金	〃	悪質商法対策 消費センター	無

▶サロンの年間予定表

○サロンの現状

実施クラブ数／120クラブ（越前市 単位クラブ数125） 実施回数／月1～2回（毎週開催3クラブ）1回の参加者数5～30名
※会費／（茶菓子代）約100円

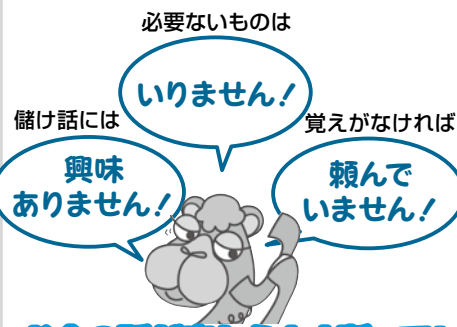
○取り組みと立ち上げ支援

- 1) 地域活性化・介護予防を目的とし、全クラブに立ち上げを呼びかける。
- 2) 新規立ち上げサロンには、経験者や役員の方々に協力を求める。
- 3) 世話役がいないサロンや、元気がなく形だけのサロンには、事務局がサポートする。
- 4) 応援団講師が1時間ほどで、その後は、おしゃべり、ワナゲ、囲碁ボール、ゲームなどで、笑っていただく。

○サロンの効果、課題

何れも熱心に取り組み、笑顔がみられ、いきいきしている人が多いです。虚弱な人に対してやさしい支援の姿がみられることは、高齢者の問題を自分のものとして自覚し、助け合っているという意気込みの現れだと思います。
課題は、男性の参加者をふやし、より楽しいサロンに育てることです。
今年は2クラブで若手高齢者向けに、夜のサロンが出来ましたので、サポートをしたいと思っています。

悪質業者は高齢者を狙っている!! 振り込め詐欺や悪質業者から身を守りましょう!



昨年度、消費生活センターに寄せられた相談件数3,845件の内、実に40.9%が60歳以上の方からのご相談でした。皆で声をかけ合い、知識を増やし、「被害に合わない・合わせない地域」を作りましょう。

◆見守りポイント◆

- ひんぱんに見知らぬ業者が出入りしている…**要注意!**
- 「無料で○○をもらえる」と言っている…**要注意!**
- 見慣れない商品や段ボール箱が増えている…**要注意!**

◆主な悪質業者対処法◆

- 必要のない商品やサービスの勧誘がきても、**話を聞かない。**
- 業者が居座ったり脅かしたりしてきたら、**警察を呼ぶ。**
- 電話を切らせてくれないしつこい電話勧誘は、**黙って電話を切る。**

お住まいの市町の消費生活相談窓口

又は 福井県消費生活センター ☎(0776)22-1102

嶺南消費生活センター ☎(0770)52-7830 へ

「おかしいな?」「困ったな!」
と思ったら

老人家庭相談員研修会

7月に県下5地区で老人家庭相談員と市町老連の女性部長1133名を対象に開催。今年は、任期2年目となり、地域のネットワークや関係機関（包括支援センターや民生委員・消費者センター等）に情報をつなぐこと・見守りや訪問活動の重要性など、専門家の講演を通じて老人家庭相談員の役割について学びました。



◎講演① 「これからの地域づくり 老人家庭相談員の力を発揮しましょう」

講師…ほやねつと北（福井北包括支援センター）
センター長主任看護支援専門員 浅井 智恵美氏

- ①各市町の高齢者の現状
- ②老人家庭相談員の役割
- ③包括支援センターとの関わり方

高齢者の現状から介護力の低下から発生する問題（老老介護・高齢者虐待・孤独死など）の事例を挙げ、国の方針（地域包括ケアシステム）や老人家庭相談員の役割と地域包括支援センターが関わることの重要性を説明されました。



あなたのまわりに「気がかりな高齢者」はいませんか？

「あれ？」「おかしいな？」小さな気づきが大切です。



いつもと様子がおかしい・心配なこと・気がかりなこと…

「何かおかしいな？」と思ったら、地域包括支援センターや市町の相談窓口などの専門機関にご相談ください。

【相談・連絡】

包括支援センター
市町窓口

【現状を確認】

専門家が高齢者の様子を確認

【公的サービスを提供】

サービスを受けていても地域全体で見守り、支えていくことも必要です！

※専門家（主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師等）

※包括支援センター等に相談された場合、相談内容や通報された方の個人情報を守られます。

★相談員の役割 地域に気になる人がいたら、包括支援センターや民生委員に連絡して、情報をつなぐ
★地域包括センターの役割 地域の相談窓口（介護・健康・家族・近所の高齢者のこと）
専門家集団（ケアマネジャー・保健師・社会福祉士）が必要な公的サービスを提供

◎講演② 「認知症の正しい理解と対応 みんなが町のお医者さん」

講師…若狭町 認知症専属看護師 高島 久美子氏

認知症について、脳のしくみや日常生活の行動や兆候、認知症の方との接し方について、相談員が訪問活動や見守り活動をする際のポイントについて学びました。

そして、認知症になっても、症状の進行を遅らせる薬や治療方法の進歩により、早期発見・早期受診することが重要になると説明されました。

★『認知症は脳の病気である』ことを理解し、『認知症になっても住み慣れた町に暮らせるように、みんなが正しく理解・対応すること』と『早期発見・早期受診が大切！』

★若狭町の取り組み

『コミュニティづくり』認知症になっても、その人を排除せずに仲良く集落で暮らすには…

5～6名のグループで地域で困っていることについて、その人を排除せず、どう対応すればよいか話し合い、みんなで考える会を開いている。

●開催日時と参加人数

7月10日
嶺南
339名

7月15日
丹南
291名

7月17日
坂井
156名

7月22日
奥越
148名

7月24日
福井
199名



女性リーダーセミナー

7月31日～8月1日に灰屋（あわら市）において、市町老連の女性リーダーを対象に32名が参加。「会員増強」「仲間づくりの取り組み」をテーマに、1日目は、美浜町老連の事例発表や、「仲間づくり」のヒント探るための講演があり、その後開かれた分散会では、4グループに分かれ、女性リーダーの視点から「サロン活動・楽しいクラブづくり」をテーマに課題や改善策を探る意見交換を行いました。

2日目は、高齢期の栄養についての講演があり、その後の全体会では、所属クラブの実態課題等が挙げられ、女性リーダーとして「気配り」や「女性のコミュニケーション能力」を活かしながら、会員増強につなげることが大切であると、各グループの代表者が発表し、2日間の研修会を終えました。

◎講演① 「健康長寿アイドルの活躍のひ・み・こ」

講師…鯖江市健康福祉部健康課 課長補佐 山本 進氏

「SBE80！（健康長寿アイドルグループ）」の誕生秘話や体験談を通じて、「グループ作りのコツ」や「活動のPR方法」、「リーダーとしての役割」などについて話され、参加者は真剣な眼差しで学び、時々笑いのある楽しい話を聞き、会員増強のヒントを掴んでいました。また、最後は、音楽にあわせて体操し、体を動かす楽しさや仲間と一緒に楽しく過ごすことの大切さを学びました。



★目的から方法論やしぐみを考えることが成功する秘訣

★若手高齢者を集めるには…目的（歌・ヨガ・体操など）を持った活動をする

★リーダーの役割…上手くいかなくて当たり前、個性を大切に、無理はしない

① 気づいたことを一箇ずつ褒める

② 間違いを認める

③ 一人一人を尊重する

◎講演② 「食生活と栄養 ～自分に見合った食事を～」

講師…管理栄養士 岩本 利恵子氏

高齢者の栄養について、参加者の食事履歴を参考に、それぞれが栄養バランスのある食事内容であるかを確認し、自分の1日に必要なエネルギーや理想体重を算出することで、自分がどんな物をどれくらい食べればよいかを学びました。



●分散会

テーマ① 「サロン活動について」

※サロン活動における課題

・サロンの開催について、老人クラブと他団体（社協・民生委員等）がバラバラで実施している

・老人クラブ主体のサロンが少なく、他団体の補助的な感じになっている

・多くのグループを作れと言われるが、民生委員は老人家庭相談員の存在を知らない人が多い

※改善策・参加してもらうための工夫

・若い人が集まれるように地域性、年齢差を考えて企画する

・無料バスを出すと参加しやすい（近くで歩いて行ける距離がよい）

・社協主体のサロンでも工夫が必要

・市町の行政、社協、民生委員、老人クラブが話し合わないといけない

・先に進まない

・他団体との連携が重要になっている

テーマ② 「楽しいクラブづくりについて」

※クラブのセールスポイント

・参加率がよい・毎月イベントがある・グラウンドゴルフ大会を子供たちと一緒にできる

※楽しいクラブづくりに必要な条件

・ワンマンなリーダーがいると楽しくない・活動を認めてもらう・他のクラブとの交流会、情報交換をする

※女性リーダーの役割

・きめ細かい気配り・女性役員が事業に参画、発言をしていくこと・役員はすべて男性が就くところもあるが、女性にも改革するという気持ちが必要で、積極的にならないといけない

◎事例発表

「女性部が中心の活動・女性に人気の活動」

発表者…美浜町老人クラブ連合会

副会長 玉井 文子氏

美浜町老連女性部の活動内容を紹介し、「女性部いきいき集い」については、実際の活動をDVDの映像を使い、古い着物をリメイクして、ファッションショーをしたことや当時、台風18号で亡くなられた会員のつくりかけの編み物や手芸品などを有志で完成させ、ステージで披露をしたことなどエピソードを交えながら話されました。また、最後に「活動を通じ気づいたことは、環境や会員状況、物の捉え方、考え方が少しずつ時と共に変わっていると感じ、これからは女性の特性を生かして、地道にコツコツと活動し、周囲の信頼と理解を生み出して、会員増強につなげていきたいと考えています」と述べられました。



★女性部の活動

① 友愛活動

女性理事は「友愛委員」になり、老人家庭相談員の苦勞を共有し、活動の支援をしている。

② ふれあいサロン

社協主催の定期的サロンに老人家庭相談員・民生委員・区長等がお世話役になり、活動している。地区の役員は60歳代が多いため、老人クラブの加入の声かけもしている。

③ 女性部ゲートボール大会

大会になると男性会員が優先されるため、女性会員の練習成果を発揮するための大会を発足した。

④ 女性部いきいき集い（2月開催…女性会員のみ参加）

講演やアトラクションなど女性会員の意見を参考に企画され、会員以外にも声かけして、会員加入につなげている。

第32回 都道府県・指定都市 老人クラブ中央セミナー

全老連主催の中央セミナー（東京・全社協）が6月2～3日に開催され、本県からは、敦賀市老連会長藤井溢美氏と越前市いきいきシニア連会長八十島幸雄氏が参加しました。

研修会では、「総力を結集して、全国100万人会員増強を達成しよう！」と会員増強をテーマに、基調報告、事例発表、グループ協議、講演、全体会と進められました。

【研修内容】

◆厚生労働省の説明

「高齢者関連施策の動向について」

◆基調報告

「全国『100万人会員増強運動』の推進」

（※参照P2～3、11）

◆事例発表

①趣味サークルを増やして、会員増強につなげる（千葉市若葉地区小桜明星会）

・お茶のみの会の開催 ↓ サークルに参加できない方のために毎月1回

②地区老連の支援により、単位クラブ復活

（香川県丸亀市城坤地区老連）

・解散状態のクラブ（会員の高齢化や会長不在） ↓ 若手高齢者・女性会員入会で復活

・女性委員の増強・女性の意見を反映させてクラブ活性化につとめる

★神社の境内にペタンクコートを設置し、老人

クラブが利用することで、地域貢献（火災予防・非行少年のたまり場を解消）

③自治会に呼びかけて、未設置地区にクラブ設立（東京都昭島市老連）

・自治会への働きかけ（効果大10年で16クラブ設立）・設立のメリットを説明

※取り組みは長期間にわたるため、交渉や活動経緯を記録している

・単位クラブ『1…1…1運動』・会員2人が年間一人を入会して頂くよう努める

◆グループ協議

単位クラブ・連合会での会員増強の取り組み状況やこれから取り組む内容について協議

◎講演

「老人クラブの会員増強に必要なこと」

～町内会との連携、住民へのPR～

◆講師

・淑徳大学准教授 小倉 常明氏

◆町内会との連携
町内会と老人クラブ双方にメリットがある（双方が必要とする）関わり方が望ましい。

【町内で起きつつあること】

①相互に見守る体制（子供たちの通報で倒れている高齢者を発見）

子供たちと会員が顔見知りになり、いつも見守ってくれる会員がいないと気づいた子供が「先生、今日いつものおじいちゃんがいなかった」伝え、学校から民生委員に通報し、発見につながった。

②サロン運営に参加し、老人クラブをPR・会員増強につなげる

・社協等が運営しているサロンは、介護予防の集いである。元気な会員が運営に参加することで、

老人クラブの存在を知らせ会員増強につなげることが出来る。

・サロン等の「集いの場所」に困っている話をきくが、地域の空き店舗などを利用し、公共施設に限らず、発想を変えれば場所は見つけられる。

◆あなたの老人クラブ・連合会の状況を点検してみよう

《人が集まる六つの要因》

- ①組織の方向性が明確である
- ②居場所がある（居心地のよさ）
- ③自分の役割がある
- ④適度な刺激がある（関わるきっかけ）
- ⑤マネジメント（運営や活動を統括する人の存在）
- ⑥企画（組織）に対する想いがある

◎リーダーは、会員の状態によりタイプを分けることが必要

- ・専制型…会員が未熟な段階
- ・民主型…会員に力がついてきた
- ・放任型…会員の能力が高い

◆住民へのPR

今魅力ある組織とは

- ①前向きである
- ②使命を持っている
- ③社会貢献に目が向いている

◆若手高齢者を引き込む作戦

インターネットで調べる時代に対応し、クラブ・連合会の「ホームページ」を作成する

※物事を調べる時の行動変革…辞書→人に聞く
↓パソコンのインターネット



（月刊全老連8月号 抜粋）

東海北陸ブロックリーダー研修会

平成26年度東海北陸ブロックリーダー研修会が7月3日～4日、石川県加賀市（ゆのくに天祥）で開催され、全老連の基調報告、事例発表（4事例）、講演と進められ、本県からは17市町老連の代表が参加しました。

【研修内容】

●基調報告

全国「100万人増強運動」の推進
全国老人クラブ連合会 事務局長 小野喜彦氏

1.「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

新たなメインテーマに基づき、健康活動や他世代・関係団体と連携しながら、安心・安全の住みよい地域づくりを老人クラブが中心となつて取り組む※参照…表紙

2.介護保険法の改正（H27年度）

2025年団塊世代（約800万人）が75歳以上となり、高齢者世帯（夫婦のみ・単独）が増加する傾向。さらに、介護保険法の改正により、予防給付（訪問介護・通所介護）は国から市区町村に移行され、地域によつて受けられるサービスも違ってくる。今後は、重度の介護支援に重点をおくため、軽度な介護や見守りが必要な方については、民間・地域・組織（老人クラブ・ボランティア等）の支援（見守り・安否確認・買い物等）が期待されている。

★老人クラブに期待されること…元氣な高齢者が弱者を支える（見守り・声かけ等）

★互助のしくみをつくる…行政・民間・老人クラブが協力して、地域で声をあげる

※「他世代・他団体」から再認識してもらおうチャンスでもある

5.「仲間を支えよう！地域の高齢者を守ろう！」
高齢者消費者被害防止

・被害者→高齢者や認知症・障がい者の方が多い
・小金持ちが狙われる→何度も少額をとられる
・犯罪者が賢い→手口は「知り合いのふり」をして近づいてくる

★老人クラブの役割「情報をつなぐ」

被害者の異変をつかみ、警察や民生委員等に情報を伝える

4.「総力を結集して 全国100万人 会員増強を達成しよう！」

会員増強を達成しよう！

★クラブの内部だけでなく、「外部への情報発信」をして他団体に老人クラブを認知してもらう

★視点をかえて、友愛訪問から老人クラブ加入を呼びかける

★まずは身をかためる…「できることをまずやる」「できないことは断る」

★未加入者は「声かけ」を待っている…声をかけているつもりが伝わっていない状態

★単位クラブの実状にあわせた作戦を考える…まだ加入できる人がいるはず

◎単位クラブの情報流通させる
単位クラブ⇕市町老連⇕県老連⇕全老連

◆事例発表

「お出かけほつとサロン」事業について

大野市老人クラブ連合会 会長 島田 一成氏

【事業開始の経緯】

この事業が始まる前は、市福祉センターで、入浴や会合など高齢者の憩いの場として、市内の老人クラブが毎月1～2回割り当てられ、バスの送迎や次回利用日の案内など、便利がよく多くの会員が利用していました。しかし、その入浴施設が故障で利用できなくなり、長年修繕してきた設備と建物本体の改修かと思いが交わされる中、市行政では、「福祉関連ワンストップサービス拠点」の計画が持ちあがりま



した。そして、市庁舎近くにある「有終会館」を増築し、「結とぴあ」という建物が増えられ、その中に福祉関連の行政担当課をはじめ、社協・老人クラブ等が互いに連携できる執務体制が整備されました。そして、従来の市福祉センターの代替えとして、市内にある温浴施設を自由に利用し、介護予防講座や入浴・自由時間を1日過ごせる「お出かけほつとサロン事業」がはじまりました。

【サロン概要】

目的	高齢者の介護予防・高齢者相互の交流活動
協力団体	大野市・市社協・地区公民館等
対象者	単位クラブ会員等 ※クラブ加入が条件
予算	市社協 事業委託予算：10,726,000円（H25年度）
サロン概要	時間：10時～15時 個人負担：1000円 介護予防講座（1時間）・昼食・入浴・交流時間
取りまとめ	会員→班長→単位クラブ長→地区公民館→社協 ①班長：負担金を集金し、クラブ長に渡す。 ②クラブ長：公民館に人数報告。負担金の取り纏め ③公民館：人数を取りまとめ、社協に連絡 ④社協：コーディネーターが負担金の回収。

【各団体の役割】

行政	広報活動・他団体との協議
社協	年間計画・案内書を作成・講師や送迎バスの手配・コーディネーターの設置等
地区公民館	実施日の案内・参加者の取り纏め
単位クラブ	年間計画書を配布・参加人数を公民館に報告・当日の点呼

【事業の効果と課題】

・外出困難や、歩行が不自由な高齢者も、送迎バスに乗れば参加出来るので感謝されている
・温浴施設での「介護予防教室」などが楽しいと好評で解散危機にあつたクラブの歯止めにもなっている
・緊急連絡対応…不測の事態も考慮し、参加者から事前に「緊急連絡票」を提出してもらっている
・課題…出欠の調査・参加者の人数確認・会費の徴収など、クラブ長の事務的な負担が大きい

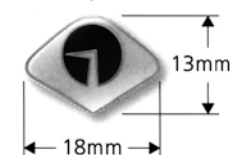
信頼のしるし

— 老人クラブ会員章のご案内 —

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボルです。

あなたも会員章を胸に、いきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう

会員章実物大



一口 1,000円



パンフレットは
全老連のホームページから
ダウンロードできます

「老人クラブ」とは

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主組織です。戦後、先覚者の提唱と社会福祉協議会の協力によって誕生し、各地に広がりしました。

現在では、全国的なネットワークを有する高齢者組織となっています。また、クラブ相互の連絡調整をはかり、より高域的な共同事業を実施するために、市区町村、都道府県・指定都市、全国の各段階に、それぞれ連合会を組織しています。

福井県
1,122クラブ
62,646名
平成26年度

単位クラブ
110,487クラブ
6,488,740人

市町村老連

都道府県・指定都市

**全国老人クラブ
連合会**

お申し込み・お問合せ

所属の市町老人クラブ連合会または県老連

平成25年10月1日改定

平成25年9月1日以降の
お申込みから適用

老人クラブ傷害保険

日常生活中で高い事故率

(老人クラブ活動中以外の事故)

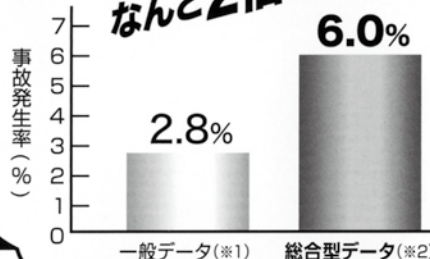
普通傷害保険事故率の

2倍以上になる **6%**

(※1) 普通傷害保険被保険者中の被害者比率(平成23年損害保険料率算出機構統計集より抜粋)

(※2) 事故データ提供: 東京海上日動火災保険(株)

えっ!!
なんと2倍以上



総 合 型

〈クラブ活動型〉+ 〈24時間型〉

24時間いつでも、どこでもケガが心配
という方におすすめ

年間掛金 3,500円・5,000円・10,000円

クラブ活動型

クラブの行事や活動によく出かける
という方におすすめ

年間掛金 500円・1,000円・2,000円



公益 全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770 | 受付時間 9:30~17:30
(土、日、祝祭日休)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768
FAX番号 03-3597-8767

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社
(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日始期以降用)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

13-T-03781-1 平成25年8月作成